

ぱあわーあつぷ開講式

2025年度のぱあわーあつぷの開講式が、5月19日(月)に行われました。今年度は、6年生5名、5年生3名の参加がありました。

開講式では、柿原小学校の上岡校長先生をはじめ、5年生担任の大谷先生、6年生担任の筒井先生、社会教育課藤原課長、当館の森田館長が出席し、「継続することの大切さや、なかまとの絆を深め、周りの人への感謝の気持ちを励みながら一年間頑張りました。」と激励の言葉を贈りました。

ぱあわーあつぷは、平成16年度の「学習会」の終了にともない、学習会を残してほしいという保護者の声から地域で署名活動を経て誕生した阿波市の単独事業です。現在、吉野町と市場町で実施されています。ぱあわーあつぷという名称には、阿波市の「あわ」と人権尊重の精神の育成や、学力定着・向上

心を主とした子ども達の「子ども達のパワーアップ」の願いが込められています。



我が家のパジャ!



耐え忍ぶ6月

◆僕は開放感あふれるこの車で風を感じながら走り回りたいのに、昨日も雨、今日も雨、そして明日も雨・・・止まない雨はないって言うからさ、しばらくの辛抱です。

読み語り教室

参加しなげなむたいない



当館では、子どもが「子どもらしく」するためのお手伝いをする自称、地球防衛軍絵本の読み語り隊員の篠原庄子さん、湯浅清美さんの読み語り教室を月2回開催しています。

篠原さん、湯浅さんは、昔話や物語、大型絵本や紙芝居など様々なジャンルの絵本を披露してくださっています。子ども達が多くの本と出会い絵本の楽しさを体験し、友達と喜びを分かち合うことができる場となるよう務めていきたいと思っています。※開催については行事予定をご覧ください。



6月1日は「人権擁護委員の日」

1人で悩まずにご相談ください

毎年6月1日は「人権擁護委員の日」です。人権擁護委員法が施行された日付にちなみ、制定されました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持っていただけるような啓発運動を行っています。阿波市では、10名の人権擁護委員が積極的に活動を行っています。皆さんに寄り添う窓口として、気軽に相談ください。



6月2日(月)

・9:30~正午
阿波市役所・人権課隣相談室
0883(36)8716
・13:30~16:00
吉野地域福祉センター
088(696)2386

編集後記

雨の季節、6月を迎えました。みなさん「雨の匂い」を感じたことはありませんか?雨の匂いは降り始める匂い、雨上がりの匂い、降り始めに感じられるのは「ペトリコール」という成分の匂いで、ギリシャ語で「石のエッセンス」という意味だそうです。カビや排ガスなどを含むほこりが水と混ざり、アスファルトの熱によって匂いの成分が気体となったもので、アスファルトから漂ってくる匂いだと思います。

対して、雨上がりに強まる匂いは「ゲオスミン」という成分の匂いで、ギリシャ語で「大地の匂い」という意味だそうです。土中のバクテリアなどによってつくり出される有機化合物のカビ臭いような匂いで、雨水によって拡散される匂いだと思います。

これから迎える梅雨を少しでも楽しめるようにと頑張ってみましたが、「石のエッセンス」「大地の匂い」とネーミングは素敵ですが、カビ臭い匂いはちょっと・・・。ですが、せめて雨の匂いが晴れない梅雨日に親近感が湧いて、思いがけず嬉しく思います。

